



《 マドリッドのプラド美術館、月曜定休なし！ 》

ゴヤ作<着衣のマハ>は東京からバルセロナへ

公共施設のサービス向上政策の一環として、1月16日(月)から、プラド美術館はこれまで定休日だった毎週月曜も開館することになりました。毎週月曜、そしてイースターの聖金曜も開館することで、年間開館時間もヨーロッパの美術館のなかでもトップクラスの3542時間となります。尚、これに伴い、美術館の開館時間は下記の通りに変更となりますのでご注意ください。

【プラド美術館】 www.museodelprado.es

開館時間: 月～土 10:00～20:00 / 日・祝 10:00～19:00 注: 入場券販売は閉館30分前まで

入館料: 一般 12ユーロ (毎日閉館2時間前からは入館料無料。ただし常設展のみ。)

閉館日: 1/01、5/01、12/25 (1/06、12/24、12/31は09:00～14:00のみ開館)

尚、1月29日(日)に東京・上野の国立西洋美術館での会期を終了した特別展<ゴヤ 光と影>は、引き続きバルセロナのカイシャ・フォーラムで3/15～6/24まで開催予定です。これに伴い、来日中のゴヤ作<着衣のマハ>も、プラド美術館には戻らず、バルセロナの同展に展示されますのでご注意ください。

カイシャ・フォーラム・バルセロナ (CaixaForum Barcelona)

<http://obrasocial.lacaixa.es/>

《ダンス・音楽ファン必見！映画“フラメンコ・フラメンコ”が日本上陸！》

名匠カルロス・サウラ監督が贈る、愛と情熱に彩られた華麗なるフラメンコの世界

「カルメン」などの名作を生みだし世界的巨匠と謳われるスペイン人のカルロス・サウラ監督と、「ラストエンペラー」などの作品で“光の魔術師”という異名で称される撮影監督のヴィットリオ・ストラーロが、再びタッグを組んだ作品。フラメンコの本場スペインでは、2010年に封切されると、“最高の芸術作品”と高く評価されました。フラメンコ界のカリスマと呼ばれるパイラオーラ(踊り手)のサラ・バラス、エバ・ジェルバエナをはじめ、パコ・デルシアやマノロ・サンルーカルなど、フラメンコ界のトップアーティストたちが集って出演しており、フラメンコファンにはたまらない作品です。2月11日(土)より東京 Bunkamura ル・シネマでの上映を皮切りに、北海道、大阪、愛知、兵庫、福岡など全国順次公開予定です。



© ショウゲート

映画【フラメンコ・フラメンコ】公式サイト: www.flamenco-flamenco.com

配給: ショウゲート



JAN-2012

《サンティアゴ巡礼の道“北ルート”、8泊10日のモデルルート》

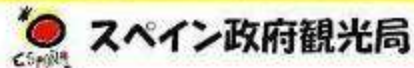
ちょっとオシャレに北ルート。緑豊かなグリーンスペインの沿岸部を巡るグルメな旅

サンティアゴ巡礼の道には複数のルートがありますが、スペイン北部沿岸部を横断する北ルートは、宿泊施設や観光名所、食事にもこだわり、グリーンスペインの魅力を楽しみながら旅したいルート。タイトなスケジュールですが、ここでモデルルートをご紹介します。

	都市	行程	宿泊地
1 日 目	日本 ↓ ビルバオ空港 <BIO>	ヨーロッパ経由(CDG/MUC/FRA)でビルバオ空港(BIO)へ ☆ ホテル・ドミネ・ビルバオはグッゲンハイム美術館前にある5つ星ホテル。朝食会場である屋上テラスから見える美術館は贅沢。 www.granhoteldominebilbao.com ☆ この日からサン・セバスティアンに2連泊も可(空港からの移動時間バスで1時間強)。  Domineの屋上テラス	ビルバオ
2 日 目	ビルバオ (Bilbao) ↓ バスで30分 ポルトガレテ (Portugalete) ↓ バスで1時間半 サン・セバスティアン (San Sebastián)	午前中ビルバオのSS。ビルバオ郊外の世界遺産ビスカヤ橋を見学後、サン・セバスティアンへ。イゲルド山からサン・セバスティアンの全景を観る。  グッゲンハイム美術館の入口前に立つ、花で彩られた巨大犬のマスク「パピー」。  世界遺産のビスカヤ橋は高さ45mの鉄橋。対岸まで全160mを歩くのはスリル満点・・・! ☆ 余裕がある場合は、ビルバオからの途中でピカソの作品の舞台である町ゲルニカに立ち寄り平和博物館を見学したり、サン・セバスティアンから30分東にある可愛らしい小さな町でレストランが多いオンダリビアへ足を延ばすのも良い。 ☆ 美食の街サン・セバスティアンにはミシュランの星付レストランも! ☆ サン・セバスティアンのチジーダ作のオブジェ「風の櫛」は必見。 ☆ 夕食にはバスク名物ピンチョスと、白ワイン「チャコリ」を!	サン・セバスティアン
3 日 目	サン・セバスティアン ↓ バスで2時間 カストロ・ウルディアレス(Castro Urdiales) ↓ バスで1時間 サンタンデル (Santander)	コンチャ湾のウォーターフロントや旧市街などサン・セバスティアンのSS。旧市街に立ち並ぶバルのピンチョスは有名。バスク州を後にし、隣のカンタブリア州へ。北部沿岸には趣ある小さな漁村が多い。教会と古城がある漁村カストロ・ウルディアレスに立ち寄り、ランチ&フリータイム。サタンデルの市街地を見学。  カストロ・ウルディアレス ☆ サンタンデルの手前にあるソモ(Somo)からサンタンデルへボート(20分程度)の利用も可能。天候次第で運休の可能性有。 Los Reginas : www.losreginas.com ☆ この日にサンティアヤーナ・デル・マルまで行き、パラドール宿泊でも良い。	サンタンデル



観光と情報



JAN-2012

<p>4 日 目</p>	<p>サントンデル ↓ バスで 1 時間 サンティヤーナ (Santillana del Mar) ↓ バスで 30 分強 コミーヤス (Comillas) ↓ バスで 1 時間半 コバドンガ (Covadonga) ↓ バスで 20 分 カンガス・デ・オニス</p>	<p>サンティヤーナ・デル・マルを自由に散策、世界遺産アルタミラの洞窟の壁画のレプリカがある博物館を見学。昼食後バスでコミーヤスへ移動し、ガウディ作エル・カプリチョを写真撮影。レコンキスタ(キリスト教の国土回復運動)発祥の地と言われるコバドンガの教会を見学。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>サンティヤーナ・デル・マル カンガスのパラドール コバドンガ</p> <p>☆ コバドンガから牧草地を抜ける道路を上ると、山間にたたずむ美しいコバドンガ湖が見られる。 ☆ 少し内陸にあるソブラオ洞窟の見学も良い www.elsoplao.es</p>	<p>カンガス・デ・オニス (パラドール)</p>
<p>5 日 目</p>	<p>カンガス・デ・オニス (Cangas de Onís) ↓ バスで 1 時間 ナバ (Nava) ↓ バスで 50 分 オビエド (Oviedo)</p>	<p>リンゴの産地として有名なアストゥリアス州はシードラ(リンゴ酒)の産地。ナバで、シードラ博物館(www.museodelasidra.com)を見学。オビエドでは、3km ほど郊外にある世界遺産のプレロマネスク教会を見学し、昼食後に旧市街見学。オビエドでフリータイム。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>シードラの注ぎ方 オビエド大聖堂 サンタ・マリア・デル・ナランコ</p> <p>☆ アストゥリアスでの食事といえば、“エスピチャ”！典型的なシードラの飲むレストランで仲間たちとワイワイと食事することです。 ☆ ナバの代わりに、ビヤビシオサ(Villaviciosa)でシードラの老舗ボデガ「El Gaitero」を見学するのも良い。www.gaitero.com ☆ 海沿いの街ヒホンへ足を延ばすのも良い。</p>	<p>オビエド</p>
<p>6 日 目</p>	<p>オビエド ↓ バスで 1 時間 クディエロ (Cudillero) ↓ バスで 1 時間弱 ルアルカ (Luarca) ↓ バスで 1 時間 リバデオ (Ribadeo)</p>	<p>漁村クディエロで 1 時間のフリータイム。山壁にへばりつく家々の路地を山頂まで登ると展望台が！漁村ルアルカでは、高台にある“白亜の墓地”を見学して昼食を取り、ガリシア州のリバデオのパラドールに宿泊。町外れにある、侵食した岩が大聖堂のアーチのような「カテドラレス・ビーチ」は、干潮時にアーチをくぐることができる人気の観光スポット。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>クディエロ ルアルカ 白亜の墓地 カテドラレス・ビーチ</p>	<p>リバデオ (パラドール)</p>



<p>7 日 目</p>	<p>リバデオ ↓ バスで2時間 ルゴ (Lugo) ↓ バスで1時間半 ア・コルーニャ (A Coruña) ↓ バスで1時間 サンティアゴ (Santiago de Compostela)</p>	<p>ルゴで世界遺産の城壁を見学し、「ガラスの街」とも呼ばれるア・コルーニャで昼食後、白い窓枠の建物群や世界遺産ヘラクレスの塔を見学。歓喜の丘に立ち寄りサンティアゴへ入る。サンティアゴ SS では大聖堂の屋根に登るツアーに参加も。その後フリータイム。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;"> ルゴの城壁 メリデのロマネスク教会 大聖堂屋根上 </p> <p>☆ ルゴまたはア・コルーニャを省くと時間的に余裕がでる。 ☆ ア・コルーニャの代わりに、巡礼路の村メリデ(Melide)でロマネスク様式教会を見学するのも良い。</p>	<p>サンティアゴ (パラドール)</p>
<p>8 日 目</p>	<p>サンティアゴ ↓ OP:リアス・バイシャス地方 (Rias Baixas) ↓ サンティアゴ</p>	<p>リアス式海岸の語源となった地域。古くから湯池として有名でホタテの貝殻で外壁を飾った教会がある“ラトバ”、ムール貝などの養殖が盛んでムール貝食べ放題・地ワイン飲み放題のポートツアーがある“オ・グロベ”、ガリシアの高床式貯蔵庫がある漁村“コンバーロ”の町を見学。夕刻からはサンティアゴでフリータイム。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;"> オ・グロベ 貝殻で覆われている教会 コンバーロの貯蔵倉 </p> <p>☆ オ・グロベのポートツアー www.crucerosriasbaixas.com 所要時間 1 時間 15 分。ムール貝と白ワイン付。 シーズンは 4 月～11 月。オフシーズンの運行は要相談。</p>	<p>サンティアゴ (パラドール)</p>
<p>9 日 目</p>	<p>サンティアゴ ↓ バスで1時間半 ビゴ空港 <VGO></p>	<p>北西部の空の玄関ロビゴから日本へ。</p> <p>☆ 乗り継ぎ例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビゴ空港(VGO)→CDG→日本 ・サンティアゴ空港(SCQ)→BIO→FRA/MUC/CDG →日本 ・VGO→MAD/BCN→ヨーロッパ経由→日本 ・SCQ→MAD/BCN→ヨーロッパ経由→日本 他 	<p>機中</p>
<p>10 日 目</p>	<p>日本着</p>		

【注意】

“バス”とはチャーターバスのことで、路線バスのことではありません。個人旅行より、グループ用の日程です。移動の所要時間はあくまでも目安で、交通状況により実際のものとは異なる場合があります。